



# 病院だより

第43号

新城市民病院総務課

新城市字北畑32-1

Tel 0536-23-7852

Fax 0536-22-2850

## はばたけ、8人の研修医!

### 研修医を受け入れます

市民病院では、次代の医療を担う人材を育成するため、研修医の受け入れを行います。

7月から12月までの間に毎月1、2人ずつ、計8人の研修医が愛知医科大学病院から来ます。約2週間の研修中、外来、入院、救急等の研修を行います。この研修の中で地域医療に対する理解が深まり、将来、この地域で活躍する医師があらわれることを期待しています。

なお研修期間中は、指導医師の監督のもとに実習を行いますので、みなさまのご理解とご協力をお願いします。



## 手足口病にご注意を!

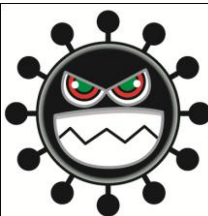
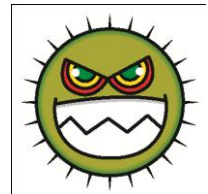
手足口病は、乳幼児・小児によくみられる疾患です。手のひら、足の裏、口の中に発疹と水疱ができるのが主な症状です。一般的には、発熱で



始まる軽い病気で、ほとんどの人が、1週間から10日程度で自然に治ります。合併症も、ほとんどありませんが、稀に髄膜炎等の中枢神経症状が発生し、入院が必要となります。

感染経路は主に感染者の鼻、のどからの分泌物や便に排泄されるウイルスが、経口・飛沫・接触などの経路により人から人に感染し、症状が出るまで3〜6日と知られています。

手足口病に対する治療法は残念ながらありません。発熱、頭痛、口腔内の潰瘍等、それぞれの症状に対する対処療法が中心です。有効なワクチンもなく、手洗いやうがいでの予防するしかありません。



## 第3回 ICLS 講習

6月12日(土)に講義室で院内ICLS講習会が開催されました。

ICLS講習とは、各職種の職員が、あらかじめ心肺停止状態の患者さんに対する医師の処置方法を擬似的に体験しておくことです。実際にそうした患者が救急車で搬送されて来た場合などに、医師が迅速に処置できるよう適格なサポート体制の確保を目的に行っているもので、今回で3回目となります。

講習は、総合内科の宮道院長と牧野医師を講師に講義と実習の2部構成で行われました。ダミー人形を使った蘇生体験では様々なパターンを設定し、その条件にあった処置を参加者全員で考えることにより、本番さながらの緊張感と活気あふれる実技講習となりました。

一定水準以上の技術習得を目指すことから、集中してできるよう少人数で行っており、市民病院の職員だけでなく、他の医療機関や消防署などの方と合同で参加しました。



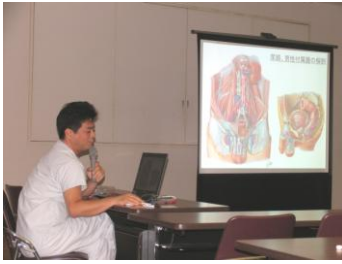
# 感染症勉強会

6月の感染症委員会主催の勉強会は「尿路感染症」について、泌尿器科の高田診療部長が講義を行いました。



尿路感染症とは、尿が作られて排出されるまでにたどる、腎臓、尿管、膀胱、尿道に細菌が感染し、炎症が起こることをいいます。

内容は尿路感染症の定義、分類や各論、症例の提示、原因菌分類について、Q&Aを交えながらの勉強会で、市民病院の職員として常に自己研鑽に努めております。



## 尿路感染症Q&A

### Q1 どのような症状がでるの

A1 尿路感染症の部位により、主症状が異なりますが、主な症状としては、発熱、腰背部痛、頻尿、排尿痛、血尿などがあります。

しかし、尿路感染症に特異的な症状はなく、かぜなどとして見過ごされることもよくあります。

### Q2 尿路感染の原因は?

A2 大腸菌がオシッコの出口から入り込んでおきることがほとんどです。膀胱の中には少しずつ外から菌が入っていますが、オシッコをすると菌が外にでます。しかし、何かのきっかけで菌が繁殖し、尿路感染症になってしまうことがあります。

心当たりのある方は  
泌尿器科専門医へ受診  
しましょう。



## ご意見お願いします!

市民病院ではよりよい病院づくりのため、皆さんの率直な意見をお聞きできるよう各階に「御意見箱」を設置しています。どんな小さなことでも結構です。気づいた、気になった点がありましたら気軽に御意見箱に入れてください。なお御意見箱以外にも、郵送、FAX、Eメールでも受け付けております。皆さんから頂いたご意見、またその対応についてはこの紙面、院内の掲示板等でお知らせしてまいります。

### 設置場所

- 1階
  - ・ 公衆電話の隣  
(正面玄関入って右)
  - ・ リハビリに向かう廊下
- 2階
  - ・ ラウンジ  
(自動販売機コーナー)
- 3、4、5階
  - ・ テイルーム



あて先  
〒441-1387  
新城市字北畑 32-1 新城市市民病院 総務課あて  
Eメール byouin@city.shinshiro.lg.jp